

### 1 1 3. 診察前検査結果報告所要時間

	血球数算定	プロトロンビン時間	D-ダイマー	生化学検査	尿スクリーニング	尿沈査
目標報告時間	30分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	45分以内報告率	20分以内報告率	45分以内報告率
達成目標	<b>95%</b>	<b>90%</b>	<b>90%</b>	<b>80%</b>	<b>80%</b>	<b>85%</b>
4月	98.3%	94.7%	95.2%	79.7%	71.7%	84.8%
5月	97.2%	94.5%	94.1%	75.9%	72.5%	82.6%
6月	97.0%	91.3%	90.8%	77.3%	73.0%	84.8%
7月	95.6%	91.8%	92.7%	75.1%	70.7%	76.1%
8月	96.3%	92.1%	93.1%	76.7%	73.3%	83.2%
9月	95.7%	92.7%	93.4%	75.0%	72.1%	79.8%
10月	96.2%	86.6%	88.8%	75.6%	70.7%	77.8%
11月	96.4%	90.4%	91.5%	79.7%	71.9%	78.9%
12月	96.0%	91.1%	91.6%	77.8%	70.0%	79.6%
1月	96.0%	92.0%	92.1%	77.8%	71.9%	79.4%
2月	96.0%	90.8%	90.0%	76.6%	73.3%	86.2%
3月	97.7%	92.0%	92.4%	82.3%	72.4%	85.5%
年間平均	<b>96.5%</b>	<b>91.7%</b>	<b>92.1%</b>	<b>77.5%</b>	<b>72.0%</b>	<b>81.6%</b>

外来診察前検査結果待ち時間は、常に短縮できるよう意識すべき評価対象であり、臨床検査部では 2017 年から毎月の集計結果を現場にフィードバックし改善活動を継続している。2021 年度は 2020 年度 5 月に検査棟 1 階(採血・尿検査)の大幅な改革による混乱から運用の定着に入った年となり、2020 年度、目標達成に満たなかった凝固検査 (PT、D ダイマー) は定着後に行った運用改善により目標を達成することができた。未だ未達成ではあるが、生化学でも運用改善を実施し 2020 年度の 66.3%から 77.5%と大幅に結果達成に近づいている。尿検査においては目標未達成であり、前年度比で尿スクリーニング-1.4%、尿沈渣前年度比-3.5%であった。これは 2021 年度より集計方法が一部変更となったことが原因であるため、今後は現在の集計方法で評価を継続していく。

今後の課題として、2020 年度 5 月に実施したシステム変更による外来検査報告遅延が、未だに継続して発生しており結果報告遅延を招いている。2022 年度は更なる運用改善と共に、システム導入メーカーとも共同で改善に尽力し全ての項目において目標達成できるよう活動を継続していく。

データ提供 臨床検査部